

福祉保健研修交流センター ウィリング横浜  
令和2年度 事業報告書

1 施設の管理運営・貸出業務

(1) 施設の目的に沿った管理運営

施設の設置目的である「福祉活動、保健活動等に従事する者その他の市民に対し研修、情報の提供等を行い、並びにこれらの者の交流の場及び機会を提供することにより、福祉活動、保健活動等の推進に必要な人材の養成及び確保を図る」(横浜市福祉保健研修交流センター条例第1条)に沿った運営を行うため、福祉保健活動従事者等へ施設を提供しました。

コロナ禍における休館や利用制限の影響により、大幅に研修室等の貸出し数は減少しました。このような中、感染症拡大防止として、机や椅子・マイク・ドアノブなど人が触れる箇所の消毒、各フロアへ手指消毒液の設置、利用者へ非接触型体温計の貸出しなどに取り組みました。

ア 目標稼働率

研修室・討議室を合計した貸出状況

	H30 年度	R 1 年度	R 2 年度
貸出室数 (室)	13,657	11,969	7,493
稼働率 (%)	63.1	57.6	38.0
平日昼間(9時~17時) 稼働率 (%)	70.6	65.7	47.4

第4期指定管理期間の目標稼働率 62%及び、平日昼間の目標稼働率 73%を達成することができませんでした。

達成できなかった原因としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため貸館時間や定員数の制限を行ったこと、さらに、利用者からも同理由によりキャンセルが発生したことなどが考えられます。

【参考】

全館貸出状況 (研修室・討議室・介護実習室・調理実習室・和室)

	H30 年度	R 1 年度	R 2 年度
貸出室数 (室)	16,828	14,484	8,710
稼働率 (%)	57.8	52.8	34.1

イ 施設利用者数

	H30 年度	R 1 年度	R 2 年度
利用者数 (人)	161,280	139,589	52,167
福祉保健従事者利用	106,867	92,118	33,696
一般利用	47,326	41,302	14,437
主催研修等	7,087	6,169	4,034

## ウ 周知・広報

インターネットの会議室検索サイトへの掲載、地域イベントのチラシや本会の広報誌「福祉よこはま」へ掲載し、周知を図りました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開館時間や定員数の制限を行ったことから、予定していた福祉保健関係事業所や一般企業等へのダイレクトメール送付は取りやめました。

## (2) 建物・施設の管理

利用者が施設を快適・安全・安心して利用できるよう、施設の維持・保全・管理に努めました。

### ア 建物・設備機器修繕業務

建物や設備機器の修繕を 19 件行いました。

臨時休館日や貸出室の利用のない時間帯に設備点検等を実施し、設備の保守及び小破修繕に努めました。

なお、第 4 期指定管理期間で実施する修繕・備品更新計画に沿った修繕として、5 階研修室のフロアカーペットや 12 階研修室内の壁紙の貼替、4・5 階空調機器等修繕工事等に取り組みました。

### イ 清掃・設營業務

良好な環境衛生や美観の維持を心がけ、施設として安全かつ快適な空間を保つため、日常清掃と定期清掃を実施しました。

また、利用者から机・椅子等の配置や備品の要望を事前に伺い準備し、当日の利用が円滑かつ利用満足度が上がるよう準備しました。

### ウ 警備関係業務

職員による 1 日 2 回の定期巡回の他、建物の警備員による巡回にて施設の防犯、保安管理に努めました。また、防犯カメラにより、防犯上重要箇所の確認を行いました。

## (3) 利用者ニーズの把握、苦情対応

### ア ご意見箱の設置

館内に 4 か所設置しているご意見箱にて 3 件（元年度：8 件）のご意見をいただき、回答を館内に掲示しています。また、寄せられた苦情は 0 件（元年度：0 件）でした。

#### ※ 主なご意見と回答

ご意見（要約）	回答（要約）
【利用方法への要望】 （交流スペース）飲食をしている人がいる。飲食禁止の掲示を目立つようにしてほしい。	現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、交流スペースでの食事はできません。職員の巡回時等で見かけた際は注意喚起いたします。また、館内掲示については、修正して掲示しました。

### イ 窓口満足度調査と利用者アンケート

来館者に対する窓口満足度調査（11 月）を行い、220 件の回答をいただきました。

結果は、職員の対応や言葉遣い、身だしなみ等の質問に対して 4 点満点中 3.9 点という高評価をいただきました。引き続き利用者本位の接遇に努めます。あわせて、

利用者アンケートを実施し、ウィリング横浜の魅力や知ったきっかけについて確認しました。

#### (4) 職員体制・育成

施設運営や事業運営に支障がないよう、職員配置計画通りに配置することができました。職員育成の取組みとしては、本会が実施する苦情解決研修等へ参加し、利用者の立場に立った接遇技術の習得に努めました。

## 2 人材育成事業

### (1) 主催研修

福祉保健従事者及び民生委員・児童委員等の活動者を対象とする、公共性の高い研修機関として54件の研修を実施しました。研修コンセプトの「組織力の向上」と「地域福祉の概念普及」を意識し、「地域力を高める」の研修では地域でのネットワーク作りができる人材の育成を目的とした研修を実施しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、消毒の徹底やゆとりのある会場の確保のほか、講義形式への切り替えやweb研修を取り入れるなど、対面や接触を避けた研修方法の工夫により、安心して研修を受講できる環境を検討し提供しました。

なお、研修受講者数が大幅に減少したのは、小地域福祉活動推進研修（定員1000人）などの大規模な研修が延期または中止となったこと、ウィリング横浜を会場とした研修では受講生どうしの距離を保つため、研修定員内で実施したこと等によるものです。

毎年、研修の企画にあたっては、研修の受講者アンケート、施設・事業者へのヒアリング、横浜市社会福祉協議会他部署のアンケート等を検討し受講ニーズの把握に努めました。研修受講者アンケートの希望から、2年度は「問題解決力向上研修」や「子どもの虐待防止」、「子ども感染症講座」などを採用し、新規研修として実施しました。

引き続き開催する研修についても、アンケート等の意見を参考に内容等を改善し実施しました。その結果、「(5) 受講者アンケート結果」にあるとおり、受講者からは96.6%の総合評価をいただきました。

#### 研修事業の年次推移（指定管理外事業を除いた実績を表示）

	H30年度	R1年度	R2年度
研修件数（件）	69	72	54
研修コース数（コース）	82	79	58
研修受講者数（人）	4,716	5,527	2,268
研修開催日数（日）	105	97	74

#### ア 組織力を高める：28件

組織人、職業人として、各々の職員が職務階層別に求められる役割行動を理解し、自らのキャリアデザインを描くこと、そして、組織活動を円滑かつ効果的に進めるための知識や技術の修得を目的として実施しました。

	研 修 名	コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 I 初任者研修～新卒者編～ ※日程変更	2	6	72	41

2	新卒者向けフォローアップ研修 ※中止	—	—	—	—
3	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程Ⅰ 初任者研修～社会人経験者編～	2	4	66	46
4	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程Ⅱ 中堅職員研修	2	4	72	51
5	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程Ⅲ チームリーダー研修	2	4	72	61
6	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程Ⅳ 管理職員研修	1	2	36	13
7	トップセミナーⅠ ～社会福祉施設・事業所におけるBCP（事業継続 計画）～ ※日程変更	1	1	60	42
8	社会福祉施設の運営基礎 ～現場で管理者に求められる人材育成とは～	1	1	36	34
9	チームリーダーのための人材育成研修	1	1	36	33
10	リーダーシップ基礎研修	1	1	36	24
11	後輩育成担当者のためのOJT研修 ※中止	—	—	—	—
12	後輩育成のためのOJT基礎研修 ※日程変更	1	2	36	28
13	後輩育成のためのOJT基礎研修 (令和元年度2日目延期分)	1	1	41	28
14	チームリーダー・中堅職員のためのセルフマネジ メント研修	1	1	36	37
15	管理者のためのメンタルヘルス対策研修	1	1	36	28
16	基礎から学ぶリスクマネジメント研修 ※日程変更	1	1	42	45
17	サービスの質の確保・向上とリスクマネジメント研 修	1	1	36	33
18	組織で取組むリスクマネジメント研修 ～効果的なリスク管理を目指して～ ※日程変更	1	1	36	18
19	苦情対応基礎研修	1	1	42	25
20	高齢者虐待の防止について	1	1	42	31
21	初任者のための接遇研修	1	1	48	22
22	チームリーダー・中堅職員のための接遇研修	1	1	42	42
23	サービスレベルアップのための記録の書き方・読み 方研修	1	1	48	44

24	サービスレベルアップのための問題解決向上研修 〔オンライン併用〕	1	1	36	会場受講 31 オンライン受講 4
25	伝える、伝わる記録の書き方研修 ※日程変更	1	1	36	39
26	社会福祉法人会計基準対応研修 基礎編	1	2	35	34
27	社会福祉法人会計基準対応研修 応用編	1	2	35	36
28	労務管理研修 ※日程変更	1	2	42	38
29	広報力向上研修 ～施設の魅力を情報発信するために～	1	1	36	42
30	職場研修担当者研修	1	2	38	23
計 28 件		32	48	1,229	973

イ 専門力を高める：23 件

福祉保健活動従事者として求められる社会福祉実践の原則や、自らのスキルアップを目的とした知識、技術の修得を目的として実施しました。

	研 修 名	コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	対人援助の本質と基本的視点～支援とは何か～ ※日程変更	1	1	42	43
2	対人援助基礎研修～自己理解・他者理解～ 【出張研修】【カレッジ連携】※日程変更	1	1	30	29
3	面接技術～相談面接・生活場面面接を学ぶ～	1	1	36	29
4	アセスメント技術～利用者の生活世界を理解する～ ※日程変更	1	1	36	40
5	スーパービジョン基礎技術～援助者の成長を支援するために～ ※日程変更	1	1	36	35
6	障害者支援基礎研修 ～利用者本人の「思い」に寄り添うために～	1	1	42	38
7	精神障害の理解 ～障害当事者からのメッセージを交えて～※中止	—	—	—	—
8	高次脳機能障害の理解 ※中止	—	—	—	—
9	発達障害の理解	1	1	52	158
10	認知症高齢者のケア ～認知症高齢者の日常を支えるケアとは～	1	1	48	18

11	制度を学ぶ研修～生活保護制度とは～ 〔オンライン併用〕	1	1	32	会場受講 25 後日動画配信 43
12	制度を学ぶ研修～初めて学ぶ成年後見～ 【出張研修】	1	1	32	19
13	制度を学ぶ研修～横浜市の福祉施策～ 〔オンライン併用〕	1	1	40	会場受講 26 オンライン受講 4 後日動画配信 21
14	プレゼンテーション研修	1	1	43	39
15	プレゼンテーション研修【出張研修】	1	1	24	21
16	ファシリテーション研修	1	1	36	34
17	子どもの虐待防止に向けて ～保育士に期待される関わり～	1	1	70	45
18	こどもの食物アレルギーとアトピー性皮膚炎～正しい理解と対応～ ※中止	—	—	—	—
19	子どもの感染症講座～職員と家族の安心のために～ 【カレッジ連携】	1	1	50	56
20	ターミナルケア研修	1	1	36	35
21	医療機関との連携の進め方	1	1	48	47
22	口から食べることをみんなで支援しよう! 【カレッジ連携】	1	1	70	51
23	薬を知って上手に付き合おう ～ステロイドの正しい知識～【カレッジ連携】	1	1	50	45
24	糖尿病を知ろう～基礎知識から最新治療まで～ 【カレッジ連携】	1	1	50	40
25	摂食嚥下のメカニズムと誤嚥予防～組織で取り組む口腔と全身ケア～【カレッジ連携】 ※中止	—	—	—	—
26	健康寿命を考える～よく噛んで飲み込む～ 【市民啓発】【カレッジ連携】 ※中止	—	—	—	—
27	みんなで予防したいインフルエンザ 【市民啓発】【カレッジ連携】	1	1	50	42
28	『結核』あわてないための知識と対策 【市民啓発】【カレッジ連携】	1	1	50	43
計 23 件		23	23	1,003	1,026

ウ 地域力を高める：1件

地域貢献の理解（専門知識・技術の地域還元等）を深め、地域協働について主体的に気づき・考え・行動することを目的として研修を実施しました。

	研 修 名	コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	社会福祉施設に求められる地域支援とは～地域共生社会における施設の役割～【出張研修】	1	1	24	19
2	小地域福祉活動推進研修 ※延期	—	—	—	—
3	親あるうちの成年後見～横浜市障害者後見的支援制度と成年後見を学ぶ～ ※中止	—	—	—	—
4	地域福祉つなぎ隊研修 ※中止	—	—	—	—
5	地区社協全体会 ※中止	—	—	—	—
	計 1 件	1	1	24	19

エ 横浜市民生委員児童委員研修：2件

民生委員児童委員、主任児童委員の方を対象とした、各種研修を実施しました。

	研 修 名	コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	地区会長研修 ※日程変更 〔後日動画視聴併用〕	1	1	263	158
2	会長・副会長研修 ※中止	—	—	—	—
3	リーダー養成研修 ※中止	—	—	—	—
4	主任児童委員研修 ※日程変更 〔後日動画視聴併用〕	1	1	120	92
	計 2 件	2	2	383	250

(2) 研修コンサルティング

横浜市内の福祉・保健事業者の職場内における職員研修の実施方法や講師に関する相談など、研修・人材育成に関する相談に対応しました。

・相談受付件数 13件

また、昨年度に引き続き、講師情報を提供するだけでなく、施設・事業所の課題や求める研修を丁寧に聞き取り、施設・事業所の研修ニーズに対応した研修プランを提案する研修コンサルティングを試行的に実施しました。

内容としては、「人権研修」や「接遇研修」など、施設・事業所のニーズに応じた研修プランを提案、講師調整を行い、当日の運営までの支援を行いました。

・対応件数 3法人 3研修

### (3) ハマ・キャリア・ネット

福祉保健研修情報サイト「ハマ・キャリア・ネット」にて、インターネット上で研修案内の公開し、WEB 申込受付を実施しました。WEB 申込者数は令和元年度の 93 名から 1.5 倍増加し、140 名となりました。

ハマ・キャリア・ネット閲覧数 12,530 件

WEB 申込者数 140 人

### (4) 研修委員会の開催

研修事業をより円滑に進めるために、外部有識者を中心とする研修委員会を設置し、研修事業の方針、企画、進行管理等について協議しました。その結果、令和3年度の新規研修企画立案に繋がりました。

〔委員構成：学識経験者2人、よこはま福祉・保健カレッジ関係機関2人、行政関係者1人、ウィリング横浜1人 計6人〕

#### <第1回>

開催日：令和2年7月 書面開催

内 容：新型コロナウイルス感染症予防対策に関する報告

令和元年度ウィリング横浜事業報告について

令和2年度ウィリング横浜研修等事業の年間計画について

#### <第2回>

開催日：令和2年11月27日（金）

内 容：第1回研修委員会（書面開催）に関するご意見等について

令和2年度 研修事業中間振り返りについて

令和2年度 各事業の進捗状況について

令和3年度 研修計画について

出席者：委員6人

#### <第3回>

開催日：令和3年1月21日（木）※オンライン併用実施

内 容：令和2年度 事業等進捗状況について

令和3年度 研修計画について

選定会議について

出席者：委員5人

### (5) 受講者アンケート結果

4段階で評価項目を設定し、受講者からの「4」と「3」の評価を併せた結果、会場受講では96.6%の総合評価をいただきました。自由記載欄では「感染症対策が徹底していて安心して受講できた」等の受講者の声をいただきました。なお、オンラインにおいてはアンケート回収率の低さが顕著でした。

#### 【会場受講者アンケート】

研修内容の理解度 (%)	97.6
講師の指導方法の適切さ (%)	97.1
研修内容の満足度 (%)	95.6
今後の業務への参考度 (%)	96.2
総合評価 (%)	96.6

アンケート回収率 (%)	98.3
--------------	------



### 【オンライン受講者アンケート】

研修内容の理解度 (%)	87.2
講師の指導方法の適切さ (%)	87.1
研修内容の満足度 (%)	87.2
今後の業務への参考度 (%)	79.5
総合評価 (%)	85.3

アンケート回収率 (%)	54.1
--------------	------

### 3 よこはま福祉・保健カレッジ事業

「よこはま福祉・保健カレッジ事業に関する覚書」を横浜市内の大学・専門学校・職能団体・NPO法人等の参画機関と締結しました。参画機関間における福祉保健分野の人材確保・定着・育成の情報交換や相互協力に向けた連絡調整等を目的として、全参画機関によって構成する連絡会議を設置しています。その連絡会議の運営及び事業企画等について検討するため、連絡会議参画機関から選出された参画機関による分科会も開催しました。

また、新型コロナウイルスの影響を受けながら、各機関がどのように事業実施しているか調査と取りまとめを行い、情報の交換、共有を行いました。

参画機関数：21 団体

#### (1) よこはま福祉・保健カレッジ認定講座の実施

参画機関が実施する講座のうち、福祉活動・保健活動等の推進に必要な人材の育成及び確保に繋がる内容のものについては、よこはま福祉・保健カレッジ認定講座として承認しました。さらに、チラシの配布や、「ハマ・キャリ・ネット」に掲載し、周知広報についても連携を行いました。

認定講座：107 講座 受講者 1,664 人

#### (2) よこはま福祉・保健カレッジ連携講座の実施

福祉保健活動従事者を主な対象としてカレッジ参画機関の専門性を生かした研修を企画し、講師の派遣等を受けることにより、主催研修としてカレッジ連携講座を実施しました。

連携講座：9 講座 受講者316人

#### (3) よこはま福祉・保健カレッジ連絡会議の開催

参画機関の相互連携・協力実現に向けて、よこはま福祉・保健カレッジ連絡会議を開催しました。令和2年度は、感染症拡大防止の観点から書面開催しました。

開催日：令和3年3月

- 内容： (1) よこはま福祉・保健カレッジ事業企画分科会「カレッジ参画団体連携・協働のための情報集約に関する調査」の集計結果について  
(2) ウィリング横浜研修委員会委員の選出について  
(3) よこはま福祉・保健カレッジ事業に関する諸手続きについて  
(4) その他、情報交換 等

その他、カレッジ事業企画分科会を開催し、相互連携・協力実現に向けた情報集約の為の調査について、検討を行いました

開催日：令和2年10月7日(水) オンライン

参加者：3人

#### (4) よこはま福祉・保健カレッジとウィリング横浜の事業連携

参画機関と連携して、人材確保事業として就職支援や定着支援のための講座等を実施しました。

- ・介護労働安定センター「就職説明会」

#### 4 情報収集・提供事業

社会福祉・保健関連分野の図書・資料等を幅広く収集し、整備・保管しました。貸出や館内閲覧等の方法で提供するほか、インターネットで図書の検索ができるシステムの運用を行い、市民に利用しやすい情報提供を行いました。

主催研修、資格関連研修において、研修テーマに関連する蔵書リストや新着図書案内を配付し、蔵書の紹介を行いました。

企画展では、「感染症」「障害と社会参加」に関連した本を展示しました。「障害と社会参加」では、共催した障害者スポーツ文化センターラポール上大岡を紹介する展示をあわせて行いました。

利用促進のため、研修情報を発信するメールマガジンや YCAN（横浜市職員専用インターネット掲示板）に新着図書を紹介するとともに、「福祉よこはま」（横浜市社協の広報紙）に広告を掲載しました。手指消毒液の設置、調査研究席の消毒のほか、表紙が紙製の本は24時間、プラスチック製の本は72時間置いてから消毒し再配架するなど、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めました。

##### (1) 収集整備状況

	H30年度	R1年度	R2年度	所蔵数
図書・資料（点）	766	579	567	39,510
逐次刊行物（点）	773	803	791	23,782
ビデオ・DVD（点）	25	13	18	1,131
合計	1,564	1,395	1,444	69,887

##### (2) 利用状況

###### ア 利用者数・館外貸出数

	H30年度	R1年度	R2年度
利用者数（人）	9,898	9,165	4,695
貸出数（件）	6,080	6,396	4,035

###### イ 登録者数

	H30年度	R1年度	R2年度
登録者数（人）	250	220	124

##### (3) 企画展

	期間	テーマ	連携講座等	閲覧者数（人）
1	12月9日～12月22日	感染症を知る		68

2	3月13日～3月26日	障害と社会参加	障害者スポーツ文化センター ーラポール上大岡 共催	92
---	-------------	---------	------------------------------	----

## 5 人材確保・定着支援事業

福祉保健分野における恒常的な人材不足を踏まえ、福祉保健職場の理解促進を目的に福祉の仕事に関する情報提供や施設見学等の各種事業を開催しました。

また、福祉の仕事に関する理解促進や、施設・事業所の人材確保支援を図る事業も実施しました。

### (1) 福祉保健分野に関する情報提供の実施

福祉に関する人々（福祉保健事業従事者、ウィリング横浜利用者、福祉に関心がある市民など）が交流を深めるきっかけの場、福祉に関する各種情報を提供する場として12階交流スペース「ウェルじゃん」を次のとおり運営しました。

#### ア 広報紙・イベント情報コーナー、人材確保関連情報コーナーの開設

より広く利用しやすいレイアウトに変更し、情報資料室紹介コーナーやデジタルサイネージによる福祉の仕事の動画紹介コーナーの設置準備を進めました。

#### イ 求人情報提供コーナーの開設

福祉関係の求人情報をホームページ上で提供したほか、求職者を直接斡旋できる「かながわ福祉人材センター」のリンクを貼る等情報提供を行いました。

・新規登録法人数： 6 法人

・求人情報提供数： 140 件

※令和2年度は、新型コロナウイルス対策のため掲示は中止し、ホームページ上の掲載のみとしました。

### (2) 福祉の仕事への理解の促進

よこはま福祉・保健カレッジ参画機関が行う就労支援への協力として、就職説明会を実施し、福祉の仕事への理解促進を図るとともに施設・事業所のイメージアップのための発信を支援しました。

また、市内の福祉・保健関係の事業所に対し、福祉人材確保を支援するセミナーを開催しました。

各区社会福祉協議会が実施する就職相談会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催は中止となりましたが、コロナ禍における今後のニーズに対する情報共有を行いました。

#### ア 就職説明会の実施

介護労働講習受講者を対象に、横浜市社会福祉協議会社会福祉部が所管する高齢福祉部会と障害福祉部会から募集した施設・事業所紹介動画を視聴し、紹介する機会を設けました。

開催日：令和2年12月17日（木） 参加者：21人

動画による施設・事業所紹介：7施設

#### イ 人材確保支援セミナーの実施

市内社会福祉施設・事業所の管理者・採用担当者等を他対象として、セミナーを実施しました。本セミナーは、会場受講と同時配信を併用して実施しました。

日程：令和3年3月2日（火）

研修名：人材確保支援セミナー「コロナに負けない！これからの人材戦略～人材枯渇に立ち向かうために～」

（共催：横浜市社会福祉協議会経営者連絡会議、横浜市福祉事業経営者会）

講師：坂本 宗庸 氏（株式会社リクルートキャリア HELPMAN JAPAN グループ）

参加者数：会場受講 11人 同時配信 60人

### （3）人材確保・育成状況等の情報収集

#### ア 福祉施設等ヒアリング

以下を目的として市内の福祉施設等に出向きヒアリングを実施しました。

- ・ウィリング横浜主催研修へのご意見、ご要望の収集及び周知
- ・人材確保や育成状況及び施設内外の研修受講実績等の把握
- ・人材定着の施策、工夫についての情報収集

調査数：全8件（電話調査・訪問調査含む）

研修への意見として、「これまで通りに集合研修を実施していただきたい」という声を多数いただきました。その理由の多くは、研修会場で色々な職場、職種の人と交流することが有意義であるため、というものでした。

イ コロナ禍における福祉・保健に関わる大学・専門学校等の就職支援状況について、WEBアンケートを実施しました。

- ・依頼件数 19校 回答数 9件

## 6 調査研究事業

横浜市における福祉保健事業向上のため、調査研究を行う団体を募集し、研修情報や場を提供する等、調査研究活動の支援を行いました。

	H30年度	R1年度	R2年度
登録団体数（団体）	3	2	1

## 7 ウィリング横浜の特色を生かした独自性のある事業

こころの相談室を運営しています。

福祉保健関係者の抱える問題の解決や心理的負担の軽減を図り、福祉保健関係者がより充実した活動ができるようになることを目的として、カウンセラーによる相談事業を実施しました。また、利用促進を目的として、「福祉よこはま」（横浜市社協の広報紙）に広告を掲載しました。

	H30年度	R1年度	R2年度
開設日数（日）	146	132	121
利用件数（件）	176	143	124

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月5月は中止。6月及び1月12日から3月19日は、電話相談のみの開設。

令和2年度 福祉保健研修交流センターウィリング横浜 指定管理事業収支決算書

収入

項目	予算	決算	差引	説明
受託金収入	166,557,000	187,925,491	△ 21,368,491	
横浜市指定管理料	166,557,000	166,557,000	0	
横浜市による運営支援 (休館期間等)	0	7,630,491	△ 7,630,491	休館期間等における新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた横浜市による運営支援
横浜市による運営支援 (利用再開後の期間等)	0	13,738,000	△ 13,738,000	利用再開後の期間等における新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた横浜市による運営支援
事業収入	74,060,000	36,418,385	37,641,615	
参加費収入	8,700,000	6,844,500	1,855,500	研修参加費
利用料収入	65,300,000	29,547,515	35,752,485	研修室等利用料等
手数料収入	60,000	26,370	33,630	
負担金収入	798,000	662,960	135,040	
利用料等負担金収入	528,000	182,980	345,020	コピー機利用料
負担金収入	270,000	479,980	△ 209,980	研修テキスト代等
雑収入	3,043,000	934,087	2,108,913	自動販売機販売手数料等
法人会計より負担	35,956,000	8,618,227	27,337,773	
収入計	280,414,000	234,559,150	45,854,850	

支出

項目	予算	決算	差引	備考欄
人件費支出	140,125,000	124,099,571	16,025,429	
職員給料支出	72,247,000	60,545,351	11,701,649	
職員俸給	56,616,000	51,925,500	4,690,500	
職員諸手当	12,892,000	6,238,431	6,653,569	
通勤手当	2,739,000	2,381,420	357,580	
職員賞与支出	18,688,000	14,213,529	4,474,471	
非常勤職員給与と支出	31,098,000	32,324,555	△ 1,226,555	
法定福利費支出	18,092,000	17,016,136	1,075,864	
事業費支出	121,779,000	94,387,666	27,391,334	
水道光熱費支出	27,000,000	15,204,335	11,795,665	
消耗品費支出	3,350,000	2,940,662	409,338	事務用品等
器具什器費支出	6,150,000	498,058	5,651,942	パソコン、ホワイトボード等
保険料支出	125,000	92,590	32,410	施設賠償保険等
賃借料支出	1,687,000	1,191,927	495,073	図書管理システム用機器、AEDリース等
諸謝金費支出	5,104,000	4,033,060	1,070,940	講師謝金等
旅費交通費支出	267,000	115,132	151,868	職員業務出張旅費
印刷製本費支出	1,378,000	607,429	770,571	研修資料印刷費等
修繕費支出	3,320,000	3,642,166	△ 322,166	館内設備修理
通信運搬費支出	2,291,000	1,680,136	610,864	研修受講通知等送付、電話料金等
会議費支出	150,000	40,000	110,000	費用弁償等
広報費支出	762,000	146,000	616,000	貸会議室広告掲載費等
業務委託費支出	54,465,000	47,724,104	6,740,896	施設保守管理費等
手数料支出	1,432,000	993,069	438,931	振込手数料等
租税公課支出	12,138,000	13,365,330	△ 1,227,330	消費税等
蔵書購入費支出	2,160,000	2,008,228	151,772	情報資料室図書等購入
雑支出	0	105,440	△ 105,440	
事務費支出	1,329,000	945,265	383,735	
福利厚生費支出(事務費)	240,000	324,807	△ 84,807	健康診断費用等
研修研究費支出(事務費)	162,000	9,670	152,330	
事務消耗品費支出(事務費)	100,000	191,049	△ 91,049	
通信運搬費支出(事務費)	46,000	134,088	△ 88,088	
賃借料支出(事務費)	555,000	134,400	420,600	ネットワークセキュリティ経費
保守費支出(事務費)	136,000	141,251	△ 5,251	勤怠管理システム保守料等
諸会費支出(事務費)	10,000	10,000	0	
負担金支出	7,000	7,000	0	
固定資産取得支出	0	124,300	△ 124,300	モニター
法人会計へ	17,174,000	14,995,348	2,178,652	法人共通経費、退職積立金等
支出計	280,414,000	234,559,150	45,854,850	

収入計-支出計	0	0
---------	---	---